

【算数・小4・「わり算の筆算」】①

育成を目指す資質・能力

<本時のねらい>

数のまとまりや既習の除法の計算の仕方に着目し、2位数÷1位数（余りなし）の計算方法を考え、図や言葉を用いながら説明することができる。

ICT活用のポイント

多様な考えの共有と比較・検討から、2位数÷1位数（余りなし）の計算の仕方を見いだすことを意識した授業

【めあてを設定する】

72÷3のような計算はどのようにしたらよいか？

【めあてを追究する】

自分の考えた方法を式と短い言葉を使ってかく。

友達の考えを読み取り、共通点や考えのよさについて話し合う。

【まとめる】

2位数÷1位数の計算の仕方をまとめ、適用問題に取り組む。

事例の概要

- 2位数÷1位数の計算の仕方について、既習の計算との比較から10のまとまりに着目し、10のまとまりとばらに分けたり、わる数でわり切れる何十と残りの数に分けたりする方法で計算し、図と短い言葉で説明を記入する（ノートに書き込む）。
- 自分の解決方法を学習支援ソフトを通して提出し、全体で共有しながら、共通点や方法のよさについて話し合いながら計算方法をまとめる。

【事例におけるICT活用の場面①】

- ノートに書いた自分の考えを学習支援ソフトを通して提出し、自分と異なる友達の考えや教師が意図的に取り上げた考えを読み取り共有する。

【事例におけるICT活用の場面②】

- ICT端末に送付された考え方や黒板に示された考え方を比較し、共通点やよさに着目しながら、2位数÷1位数の計算の仕方のポイントを見いだす。

【算数・小4・「わり算の筆算」】②

【事例におけるICT活用の場面①】

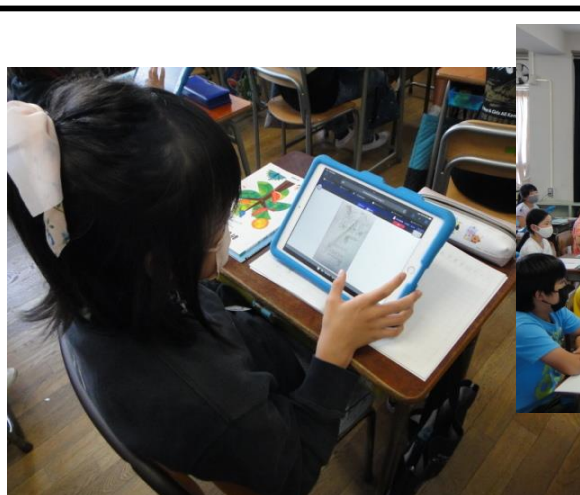


写真1



写真2

考えを共有する場面では、児童が計算の仕方をまとめたノートの画像を学習支援ソフトで画面共有しながら、考えを共有した。

写真1は、画面共有された考え方の読み取りをしている。

写真2は、教師が意図的に取り出した考え方について、ICT端末の画面だけでなく、黒板にも整理しながら考えの共有を図っている。

児童は、自分と異なる考え方に触れ、新たな気付きを得たり自分の考えを修正したりすることができた。

【事例におけるICT活用の場面②】



自分の考えを送るという活動が、追究意欲を高める一つの要素となっていた。また、短時間で、考えの共有が図れ、その後の比較・検討につながる。

比較・検討の場面では、黒板とICT端末の画面共有機能を活用して、考え方の共通点や考えのよさを見いださせた。

児童の気付きを教師が黒板に整理し、まとめにつなげることができた。

【活用したソフトや機能】
・学習支援ソフト

黒板とICT端末の両方を利用して比較・検討したことで、クラス全体での対話につなげることができ、考えを深めることができる。